

小型酸素モニタ

OX - 500

工事設置マニュアル

お願い

- ・ 本器をご使用になる前に、必ずこの説明書をお読みください。
- ・ お取扱いは、説明書に記載の通りに行ってください。
- ・ 説明書に記載以外の誤ったご使用をされますと、本器の故障の原因となります。
- ・ 誤ったご使用による故障、事故及び弊社指定サービス会社以外での修理、改造は品質保証の対象になりませんのでご注意ください。

本器の使用目的以外のご使用による検知結果及び誤作動、事故については、弊社は一切の補償責任を負いません。



理研計器株式会社

目次

ページ

はじめに	2
1.本体の取付方法	3
1-1 取付方法（取付板を使用する場合）.	3
1-2 取付方法（取付板を使用しない場合）.	5
2.リモートセンサ取付方法	7
2-1 センサの交換方法	7
2-2 リモートケーブルの接続方法	10

はじめに

この度は、小型酸素モニタ OX-500 をお買い求めいただきありがとうございます。本器は、万一の酸欠事故防止のため、酸素濃度の低下を警報ランプとブザーでお知らせするものです。

このオプションマニュアルは本器の設置及びリモートセンサの接続方法を説明したものです。本器を正しく設置していただくための必要な事項が記載されています。作業時には必ずお手元に届くようにして下さい。

危険

この表示は取扱いを誤った場合、「人命、人体又は物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。

警告

この表示は取扱いを誤った場合、「身体又は物に重大な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。

注意

この表示は取扱いを誤った場合、「身体又は物に軽微な被害を及ぼすことが想定される」ということを意味します。

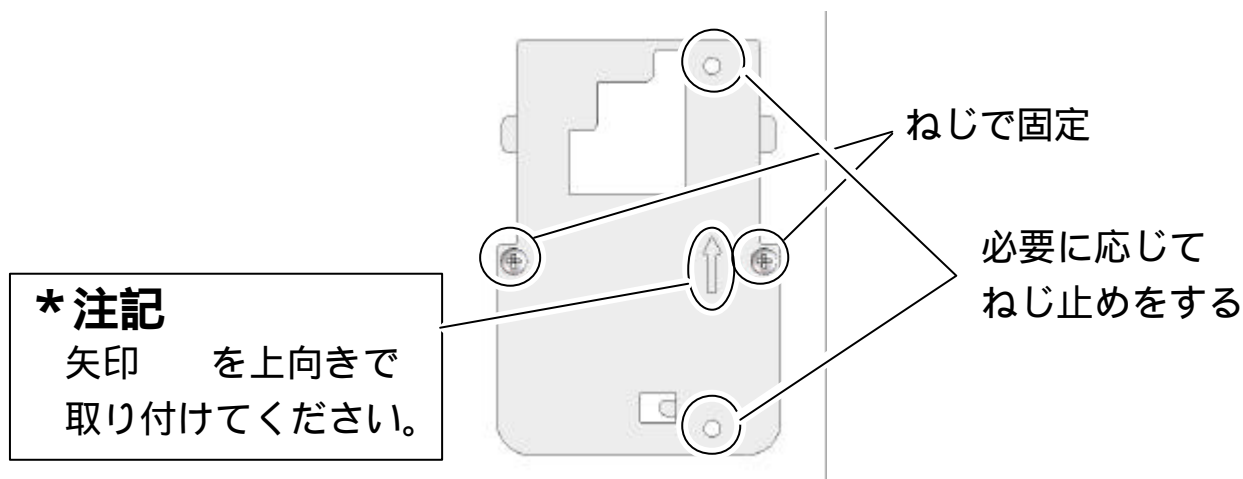
* 注記

この表示は取扱い上のアドバイスを意味します。

1.本体の取付方法

1-1 取付方法（取付板を使用する場合）

取付板を付属のねじ（なべ小ねじまたは丸木ねじ）で壁面に固定します。固定する際、取付板が傾いていないことを確認してください。基本的には2ヶ所で固定し、他の2ヶ所のねじ穴は必要に応じて使用します。



▲ 注意

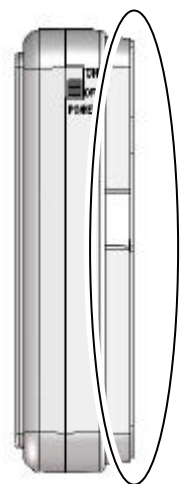
取付板は十分に強度があり、振動のない平らな壁面に取り付けてください。

下ケース背面の取付板差込み穴に取付板の突起部（3ヶ所）が入り込むように本体を押し当て、取付板と下ケースが密着した状態で本体を下方にスライドさせます。

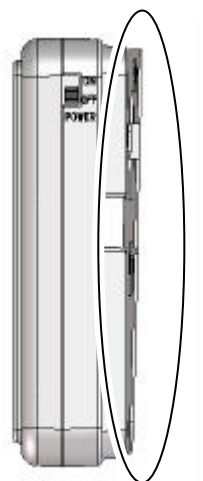


ACコードは設置場所に合わせて、
ケーブル引き出し口（溝）にはわせて出す

下ケースの背面が取付板と密着していることを確認してください。



良い例

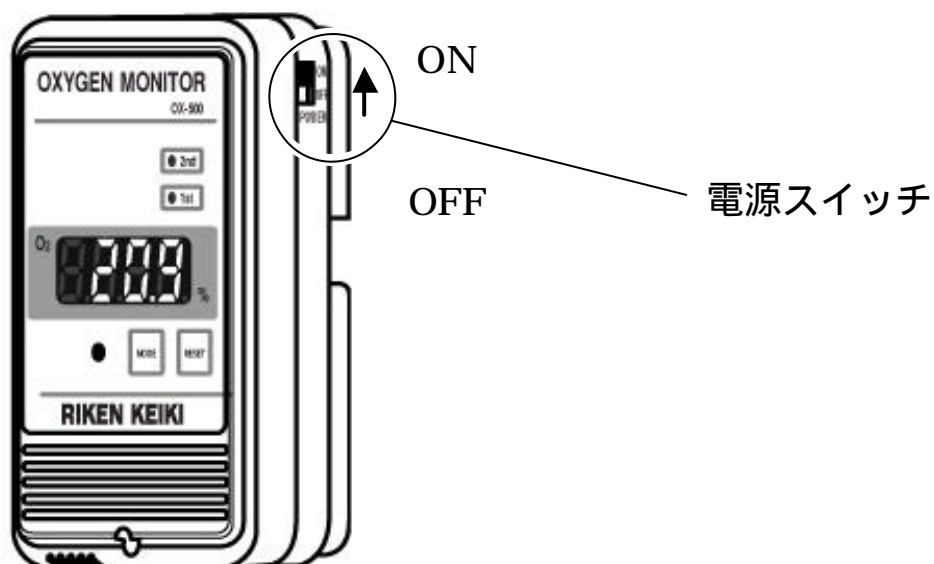


× 悪い例

注意

取り付けの際、ケーブルが本体と取付板に挟まれないように注意してください。

AC コードをコンセントに差し込み電源を入れ、測定モードになったらエア校正を行ってください。



注意

エア校正を行うまで濃度表示が点滅しています。
停電も含み、電源を入れ直した際は必ずエア校正を行ってください。

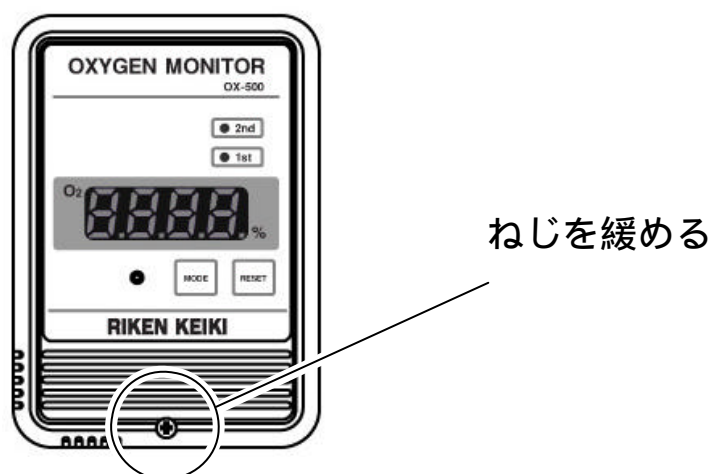
1-2 取付方法（取付板を使用しない場合）

スイッチボックスに直接取り付ける場合も、この取付方法に従ってください。

注意

本作業は、元の AC 電源を入れる前に行ってください。
感電する恐れがあります。

本体正面下部のねじを緩め、上ケースを開けます。



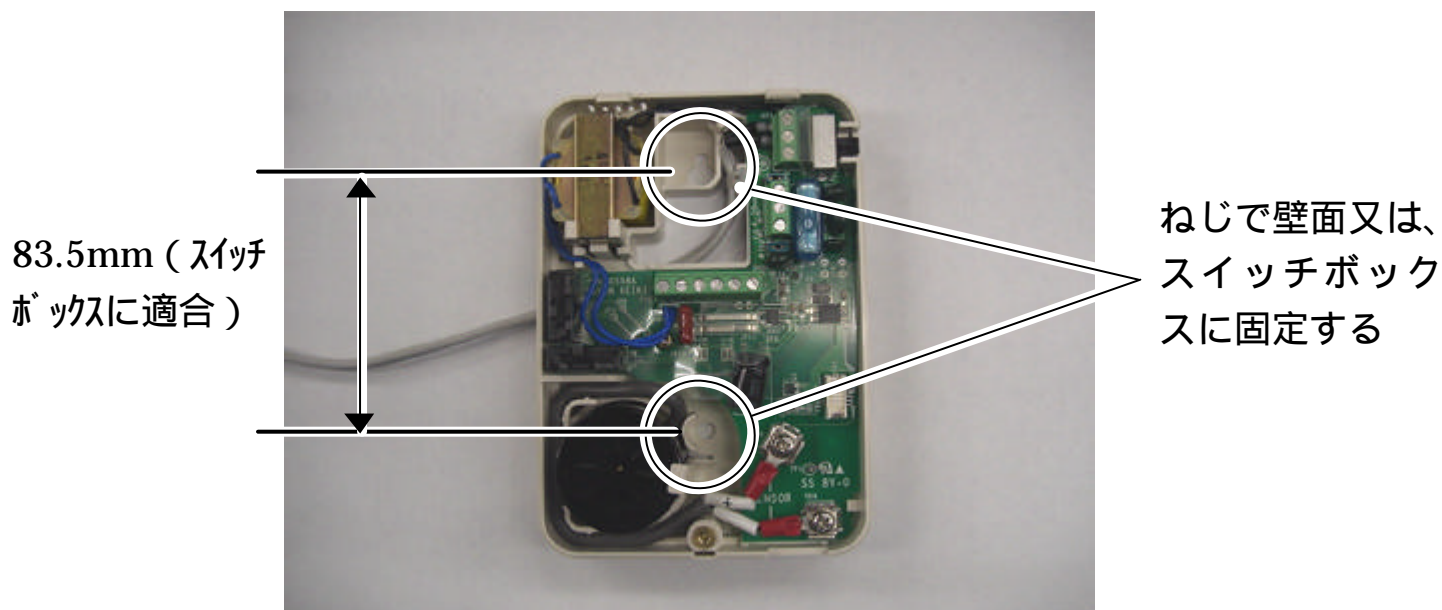
上ケースを開け、下ケースとつないでいるコネクタを外します。



注意

- ・各ケースはコネクタでつながっているため、断線しないよう注意して開けてください。
- ・コネクタを抜く際は、電線を引っ張らないようにしてください。

下ケース 2 ヶ所を付属のねじ（なべ小ねじまたは丸木ねじ）2 本で壁面に固定します。この際、本体が傾いていないことを確認してください。



▲ 注意

機器は十分に強度があり、振動のない平らな壁面、又はスイッチボックスに取り付けてください。

また、取り付けた際に壁と本体の間にケーブルが挟まらないように注意してください。

上下ケースをコネクタでつなぎ、ケースを閉めます。この際、上ケースのツメ 2 ヶ所が下ケースにしっかりとハマっていること（上下ケースが確実に吻合していること）、ケーブルがケースの外にはみ出していないことを確認し、本体正面下部のねじを締めてください。

▲ 注意

- ・防水、防滴仕様ではないため、水がかからない場所に設置してください。
- ・電源 / センサケーブルに無理な力がかからないよう設置してください。
- ・センサ部の通気口をふさがないでください。

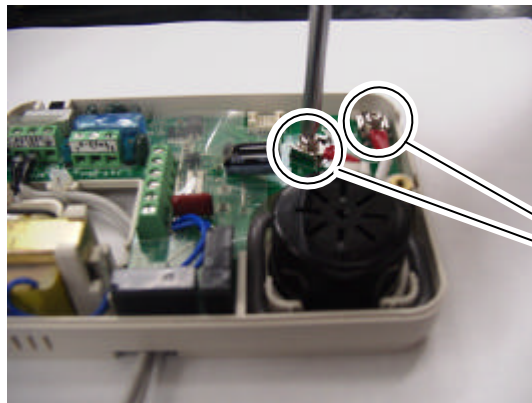
2.リモートセンサ取付方法

2-1 センサの交換方法

注意

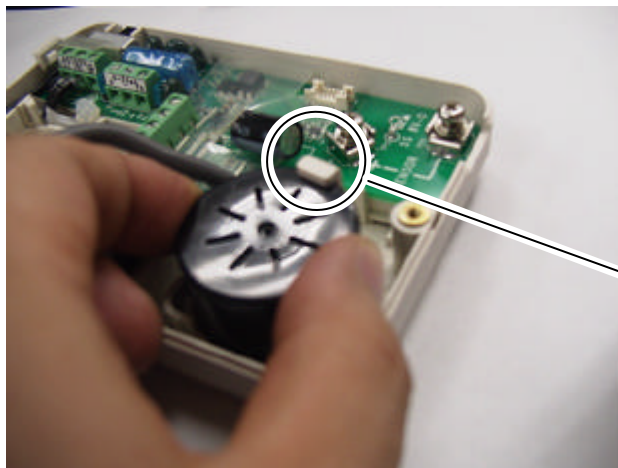
センサ交換時は、本体電源を切ってください。

本体正面下部のねじを緩め、上ケースを開けます。
ねじを2ヶ所緩め、センサケーブルを取り外します。



ねじを緩める

センサ押さえのツメをずらし、センサを外します。

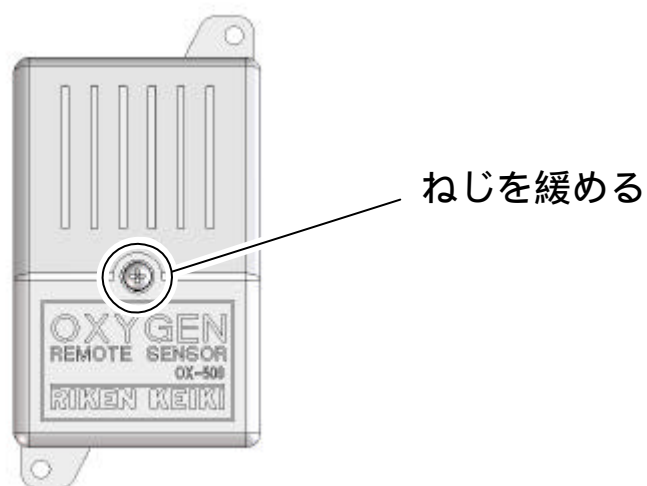


ツメ

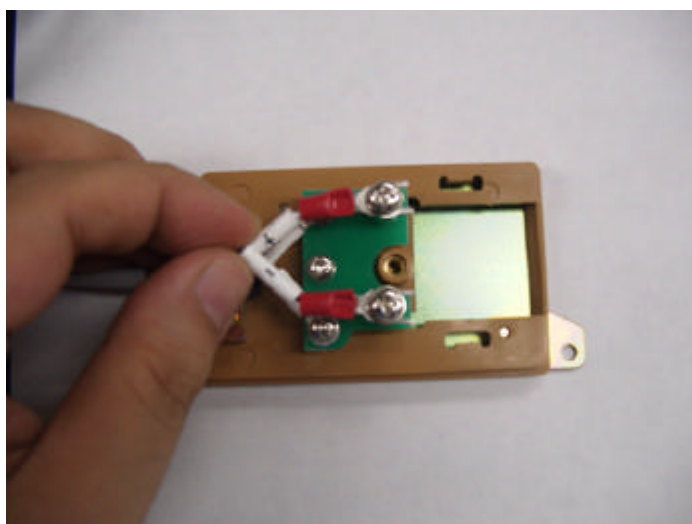
注意

本体端子台のねじを外してください。リモート側で使用します。

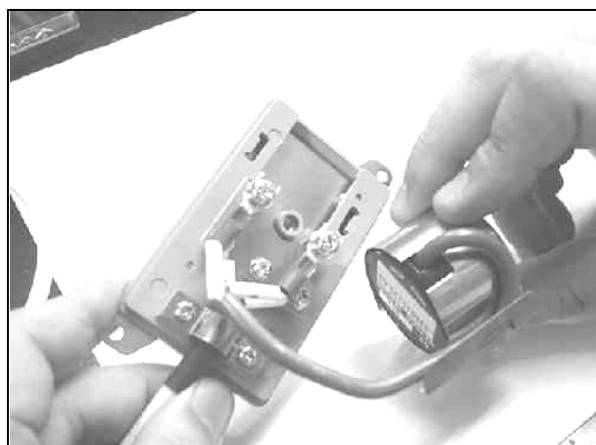
リモートセンサ正面のねじを緩めて蓋を外します。



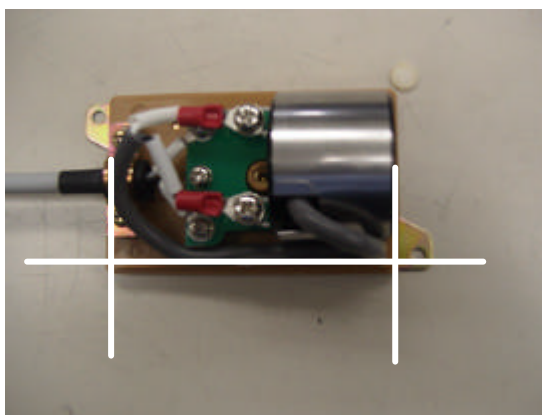
本体より外したセンサをリモートに配線します。この際、ケーブルのプラス・マイナスに注意してください。



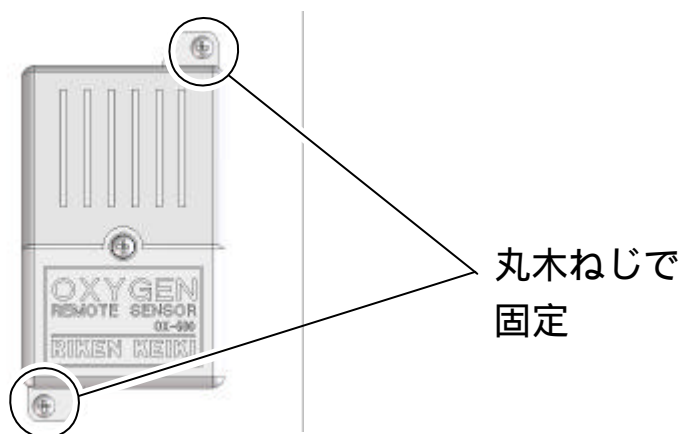
センサをセンサホルダに取り付けます。センサホルダは片側を差し込んでから逆側を差し込んでください。



取り付けしたセンサのケーブルが、台の凸部（図中の白線）よりも内側に入っていることを確認してください。



蓋を閉め、ねじで固定します。また、取付板の2ヶ所を付属の丸木ねじで壁面に固定します。



▲ 注意

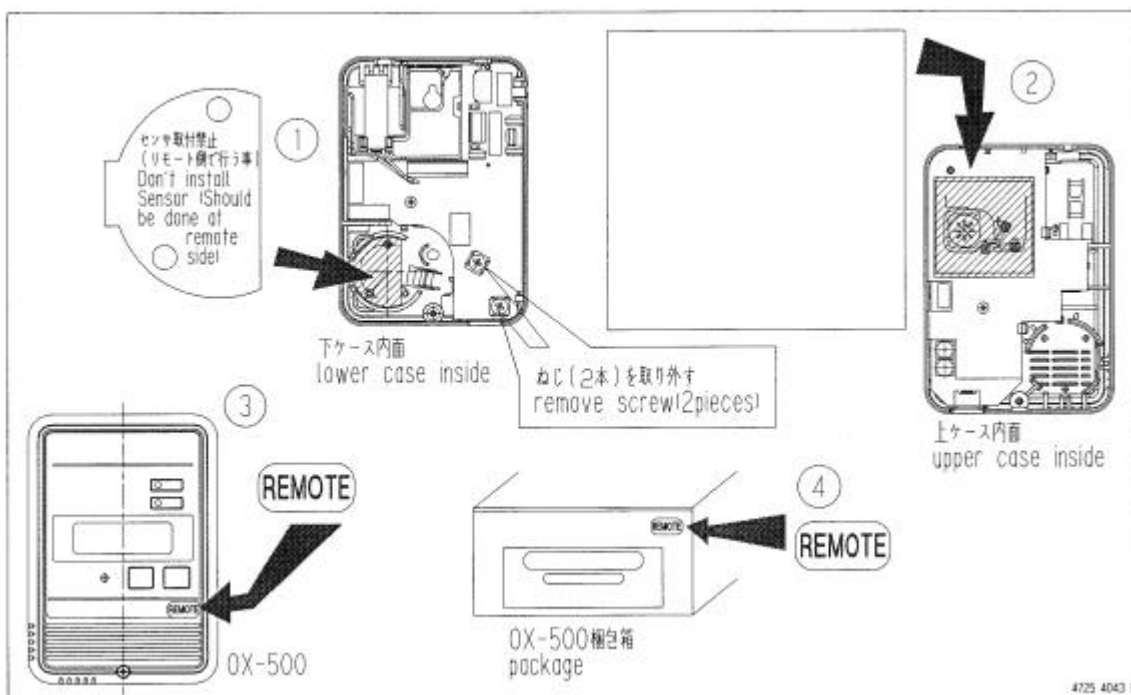
機器は十分に強度があり、振動のない平らな壁面に取り付けてください。

▲ 注意

本体と、リモート部両方にセンサを装着しないでください。

2-2 リモートケーブル接続方法

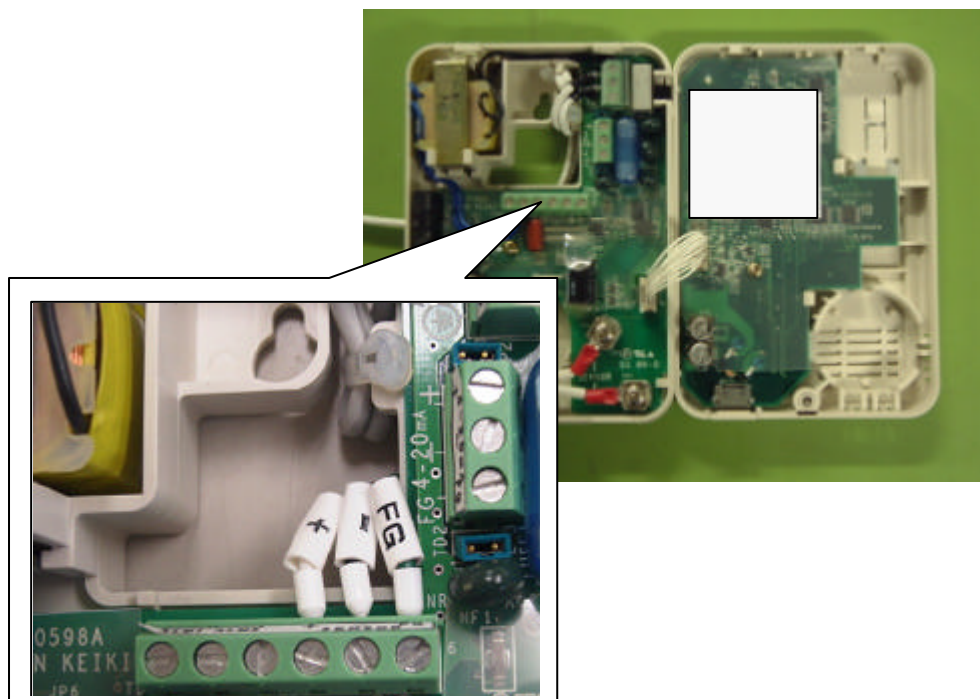
リモートセンサに付属されている、シール（改造用銘板 ~ ）を記載されている位置に貼付してください。



▲ 注意

センサの誤接続を防ぐ為に必ず銘板を添付してください。

OX-500 本体のケースを開け、リモートケーブルを配線します。この際、ケーブルのプラス・マイナス・FG に注意してください。



本体ケースを閉めます。

AC ケーブルをコンセントにつなぎ、本体電源を入れます。電源を入れた際は、必ずエア校正を行ってください。

 **警告**

- ・電源線、リモートセンサケーブルと高周波、高電圧を含む配線及び他の機器の電力線とは平行配線しないでください。
- ・高周波、高電圧線及び、電力線と交差させる場合は、直交配線としてください。
- ・配線工事において、ケーブルに引っ張り、締め付け、ねじれ等ストレスが加わらないようにしてください。

保証規定

1. 取扱説明書等に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの日から1年間無料で修理いたします。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。

- (1) 誤ったご使用及びお取り扱いの不注意による故障。
- (2) 弊社及び弊社サービス代理店以外で修理又は改造された場合の故障及び損傷。
- (3) お買い上げ後の輸送、移動、落下、保管上の不備などによる故障及び損傷。
- (4) 火災、地震、水害、その他の天災地変等の外部要因による故障及び損傷。
- (5) 接続している他の機器に起因して生じた故障。
- (6) 故障の原因が本製品以外にある場合。
- (7) 指定外の使用条件でご使用された場合に生じた故障及び損傷。
- (8) 消耗部品(電池・センサー等)及び付属品の交換。
- (9) 保証書のご提示がない場合。
- (10) 保証期間内の無料修理でも遠隔地への出張修理を行った場合は、出張旅費(実費)を申し受けます。但し有料修理の場合、技術料、交換部品代、運賃、又は出張旅費(実費)を含む諸掛り等の費用は、お客様のご負担とさせていただきます。
- (11) 本製品の外部信号出力を利用して、他の機器の制御に使用された場合等、他の目的にご使用になり生じた故障及び損傷、またこれに起因する損害(付随的損害等)の補償はいたしません。
- (12) 保証期間の内外を問わず本製品をご使用することによって生じたいかなる事故及び損害の補償はいたしません。補償は製品及び部品の交換の保証範囲に限ります。
- (13) 保証書は日本国内においてのみ有効です。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年です。

本社・営業所

理研計器本社 〒174 - 8744 東京都板橋区小豆沢2 - 7 - 6

本社営業第1部	TEL(03)3966 - 1111(代)
本社営業第2部	TEL(03)3966 - 1114(代)
札幌営業所	TEL(011)733 - 7505(代)
仙台営業所	TEL(022)261 - 1666(代)
水戸営業所	TEL(029)248 - 6151(代)
埼玉営業所	TEL(048)548 - 8711(代)
千葉営業所	TEL(043)214 - 3565(代)
多摩営業所	TEL(042)397 - 6813(代)
神奈川営業所	TEL(044)355 - 8631(代)
厚木営業所	TEL(0463)92 - 6971(代)
浜松営業所	TEL(053)437 - 9421(代)
名古屋営業所	TEL(052)411 - 3636(代)
四日市営業所	TEL(0593)33 - 7221(代)
金沢営業所	TEL(076)226 - 8247(代)
大阪営業所	TEL(06)6350 - 5871(代)
神戸営業所	TEL(078)261 - 3031(代)
広島営業所	TEL(082)875 - 4151(代)
福岡営業所	TEL(092)691 - 6372(代)
熊本営業所	TEL(096)242 - 5522(代)

鶴岡営業所	新潟営業所
水島営業所	四国営業所
徳山営業所	大分営業所